

小栗正幸氏講演会

「発達面に偏りのある高校生における SNS 関連の対人トラブル」 ～トラブル対応の要点を中心に～

2020年11月21日(土) 13:30～

会場：箕輪進修高校にて

参加方法 「長野県教文会議ホームページ」の生指・特支研究会情報の <https://forms.gle/2aCggMtx4Y1qxjYR8> から申し込んでください。(下記①・②両方とも)

- ① 箕輪進修高校に集合して直接参加。
- ② オンライン Zoom 参加。
申し込んだ方には URL をメールにてお知らせします。

参加費無料 どなたでも参加できます。
「教文上伊那支部ミニ教研」合同開催となります。
教文会員には旅費または通信費が支給されます。

コロナ禍では、特性をもつ子ども達はどのような時間を過ごしているのでしょうか。また、急激な ICT 教材を使った授業が進められる中、私たち教師は新たな教材づくりに躍起になっています。子どもの戸惑いや気持ちを捉える言葉がけはできているのでしょうか……。生徒の心の表出が問題行動となる前に、生徒指導と特別支援がタッグを組み、難しい生徒対応の技を磨きましょう！ 小栗先生のご経験から学ぶことがたくさんあります。

■小栗正幸(おぐりまさゆき):日本 LD 学会名誉会員、特別支援教育士 SV、特別支援教育ネットワーク代表、他。宇部フロンティア大学臨床教授。法務技官として各地の矯正施設に勤務後、宮川医療少年院長を経て退官。専門領域は思春期から青年期の逸脱行動への対応。著書に「発達障害児の思春期と二次障害予防のシナリオ」「ファンタジーマネジメント」他多数。